

実施日：令和5年6月8日（木） コマ：2

事業名：自動運転（レベル4）法規要件の策定

### とりまとめ結果：事業内容の一部改善

現状通り3名	事業内容の一部改善2名	事業全体の抜本的な改善1名	廃止0名
--------	-------------	---------------	------

#### 【とりまとめコメント】

- ガイドラインの中身や国際基準への効果をより具体的に効果測定できる指標を検討すべき。
- 社会的認容に対する政府の関与の効果が見えるような指標を設定すべき。
- 事業実施体制のあり方を見直すべき。

#### 【外部有識者の主なコメント】

- ・ 国際基準への効果を具体的に効果測定できればなおよい。
- ・ この事業の重要性は理解できる。自動運転の社会実装に向けて種まきの段階にある事業だと理解している。大きな成果が得られるよう期待する。
- ・ 定量指標としてガイドラインや国際基準の策改定数に加え、社会的認容に対する政策効果が見えるような指標が必要ではないか。
- ・ リスク回避に偏りすぎている印象を受ける。
- ・ 社会に受容される水準の検討・策定は難しいものと理解するが、現状アプローチがよいのか、という検討も必要ではないか。
- ・ 効果発現の経路にガイドラインの中身や国際基準への反映といった面を取り入れるべき。
- ・ 事業実施体制において、独立行政法人の技術力が核になっているのであれば、あるべき体制のあり方も抜本的に見直す必要があるのではないか。